

事務事業評価表 平成23年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 就業環境の整備  
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業（消防水利防錆塗装事業）**

[0912]

部名	消防	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	消防課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市内に設置されている公設消防水利。</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>この事業により 市内の雇用を創出する。</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>水利状況調査、錆取り 既塗装剥離、標識取外し及び取付け、防錆処理、上塗装。</p>
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	消防水利数	基		630	630	586
対象指標2						
活動指標1	防錆必要水利数	基		210	210	166
活動指標2	防錆処理済水利数	基				
成果指標1	雇用者数	人		3	3	3
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	1,840	2,886	2,594
正職員人件費 (B)		千円	0	1,660	1,612	1,629
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	0	3,500	4,498	4,223

費用内訳	
22年度	委託料 2,886千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

水利の腐食等による使用不能の回避と視認性の向上を目的としたもので、市民の安全を図ることは重要であり市が行なうことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

災害時の水利確保は、火災の消火及び延焼防止の上で大変重要であり貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

予定の数値に達しており目的である識別の向上が図られている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

コスト及び視認性については、現時点で最良の方法であり成果向上の余地はない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

公益法人への委託でありこれ以上のコスト削減は不可能である。